

# ゆらの通信

Vol.18

平成25年12月

「ゆらの」は今年で10年目になりました。

清水秀明代表よりメッセージ

由良野の森は、ホッとする場です。人と自然が融け合っているから。自然を離れて人は生きてゆけません。由良野の森でさまざまな体験をしたら、今いる場所でそれを育ててください。自然の中ではぐくまれてきた自分が分かってきます。

田舎（現在は愛南町）で育った私の、心に残る最も印象的だった出来事は、山道で出会ったきれいな虫のことです。後で、「玉虫」という虫だったのだと自分で納得したのですが、出会った時はハッとして、息をのみました。自然の中で生まれている時、ときおり自然が見せてくれる

「ハッとする瞬間」のひとつでした。心を打たれるというありふれた表現ではなく、ハッとして息をのむ一畏敬に近いのでしょうかーという気持ちです。海に潜っても、光のグラディエーションによるきらめきや、魚の群れやエビの動きにハッとさせられ、ウニやクラゲやウツボを恐れました。小学校3年生で松山に転校したのですが、松山に出てきてもそのことを何度も思い出し、小学校6年の卒業文集に、山や海で遊んだ楽しかった思い出を書いて、最後に松山に来たくなかったと心情を吐露したのを思い出します。子供の心に、何度も何度も、遊んだ風景がリフレンされ美化されたのでしょうが、そうした思い出が自分の成長してゆく中での心の支えになってきたし、今もあります。子供は感受性が豊かで良く分かるから、小さい時の体験は宝です。

心にふれて、響くのです。

「ゆらの」の動機です。



2013年12月9日（曇り）  
森の様子

## 2013年9月4日 由良野の森の大洪水

10日ほど前まで雨がなくて断水だった森。大雨で今度は洪水！

夜明けから激しさを増した雨は7時半ころから異常な量に。テレビがないので、洪水警報が出ていることに気づかず、登校した子供たちを学校に迎えに行った帰りには道は川になっていました。

染織工房の玄関から流れ出す大量の茶色い雨水に茫然。水が収まるまでは打つ手もなく見守るだけです。



鶏小屋とハウスの間。  
ハウスの中も隣の畑も水浸



道のワダチを削りながら一気に  
工房に向かって流れる雨水。



由良野に登ってくる  
道も土砂崩れ。危う  
いところでした。

## 大洪水の後かたづけをしました。

雨が上がってから、さっそく後かたづけ奔走しました。  
床下浸水の工房土間には土砂が堆積していたのでまずそこから…。道直しには会員さんにご寄付頂いた重機が今回も大活躍！さっそく駆けつけてくれたパソコン担当のクマガワさん。  
手伝ってくださった皆さん、ご心配いただいた皆様ありがとうございました。



ハウスも畑も管理人の自給用とゆらのを訪れる方のおもてなしなどに使う野菜を育てています。  
斜面に建っているためこちらも川となり、土砂が流れ込んでいました。週末の子どもたちと総出です。  
枯草堆肥で育ったとっても甘いトマトは無事。体を動かした後はさらに美味！！  
自然から恵みを受け、自然から（かなわない）ということを学び・・・森の暮らしは体験の連続です。



## 2013年10月1日 雄山羊のケイソウ逝く

3年前、雌山羊ミミコと森にやってきたケイソウ5歳。これまでたくさん子山羊残しました。今年の夏まで、山羊3頭羊2頭の中で一番やんちゃだったのですが、この夏一気に成長した雄羊のリキにリーダーの座を奪われ、群れの中で一番体の小さい存在になっていました。そのころから元気がなくなり、この夏は下痢が続いて少しずつ痩せていきました。獣医にも相談して薬も与えたりしていましたが改善せず、この日の末明、枯れるように息を引き取りました。



前日のケイソウ。  
じっと遠くを見つめて…

## 2013年10月3日 カエントケ、また見つかる

県内では発見例の少ないカエントケ。2年前にも共生林で見つかりましたが、今回は別の場所。  
猛毒キノコで致死量3グラムという毒性らしいです。こども博士たちとは一緒に勉強しましたが、会員の皆さん～森で見つけても決して触らないように。





**2013年10月6日 第52回子ども森林博士号講座 (秋の森を探検しよう)**

秋の森探検。講師の山本栄治さんのもと、さっそく先日見つかったカエントケの見学。みんな興深々。途中沢ガニもいっぱい捕まえました。その後みんなの関心は、いつもの様に食べ物に。栗にムカゴにアケビ。アケビは沢山採れたので、最後は種飛ばし大会に！！食べるどころより種の方が多いのです。本当に遠くまで飛びました。そんな中、森中ミソソバの花が満開で、虫たちがせっせと蜜を集める羽音がとても賑やかでした。

アケビ、旨！！



カエントケの見学



ほら、アケビだよ！！

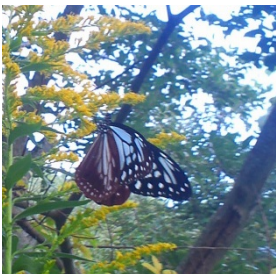
雨上がりの  
道路には沢ガニ  
がいっぱい



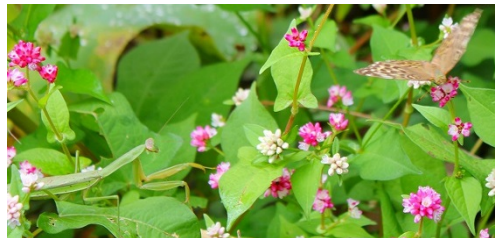
アケビの種飛ばし大会  
優勝

**2013年10月10日 10月だけオオムラサキ共生林に舞う**

ヤギと羊を連れて共生林に散歩に行くとオオムラサキ（日本の黒蝶）をよく見かけます。共生林担当の山本栄治さんがエノキをたくさん植えて育ててくれたおかげ。（幼虫がエノキの葉を食べて成長する）ふわふわひらひらと独特の飛び方をするのでハッとします。



オオムラサキ（雄）



ミソソバと  
カマキリと  
オオムラサキ（雌）

子ども森林博士号講座で  
アケビの種飛ばしをした  
池のそばで…

**2013年10月22日・27日 共生林での野鳥標識調査**

毎年、共生林担当山本栄治氏によって行われている野鳥調査が今年も行われました。写真の鳥はクロガビチョウ（特定外来生物に指定されている）とツミ（雀鷹、絶滅危惧Ⅱ種）。今年は小さな子どもさんと一緒にの会員さんたちが何度か見学に来られて、めったにない野鳥を間近で見ることができました。



クロガビチョウ



森で調査中の山本さん



ツミ



尾羽の長さを図っています



## 2013年11月8日 12月5日 ヤギの種付け

メスヤギの発情は年数回、21日間隔で36時間程と聞きました。由良野の森にオス山羊がいなくなったので、愛媛県西条市まで知人の農家（愚禿山）山之内さんのところに種付けに伺いました。急なお願いにも関わらず快く迎えてくださいました。ミミコもオジョウも由良野に来て初めてのドライブは片道1時間半。緊張の後のお見合い。お相手の名はピリキーノ（イタリア語で腕白）。滞在時間は2時間程でしたのでうまくいったかどうかは春のお楽しみ。何色の子ヤギかな??



イノシシ捕獲用の檻で移動



じゃじゃヤギミミコも今日は非常におしとやか



オジョウはクワイ棚の下でお見合い



山之内さんにも美人ヤギと評判のオジョウ

## 2013年11月19日・29日 早くも積雪

まさか想定外の雪。あまりに早い積雪に人間もびっくりですが、植物も葉をつけたままのところに重い雪が積ると負担は大きいようで、あちこちで枝折れや倒木がありました。それでも雪化粧の森はいつ見てもいいもので、日照時間が短くなる冬の景色を、雪の反射で明るくしてくれます。紅葉の森に雪??という不思議な景色も楽しめたし…。



11月19日



11月29日

## 2013年11月21日 羊小屋と柵の建設と広島からの助っ人!

何とか11月23日のイベントまでに入居していただくこと進めていた羊小屋。ちょうど広島からゆらの会員の内藤さんが、長期の休暇をとってお手伝いに来て下さってました。寒さが苦手という内藤さんにまさかの雪。(もうしわけない!) KURIライブに間に合わせようと、アラレや雪降る中急ピッチで仕上げました。お陰様で22日、とりあえず3頭の羊さんに収まっていたいただきました。羊、びっくりした顔してました。

何しろたっぷりな羊毛に包まれた羊に電柵は効かないようで、いつも好き勝手にやってたのですが、夕暮れの森でヤギの散歩中に出くわした時の驚き…。(こんな山奥で~?) 森中が動物園みたいになるのは困るのでお大師様の丘の上を羊放牧場と決めました。ただいま、夜な夜な春に刈った毛を紡いでいますが、なかなかいい糸です。糸車も頂き物です。編んでくれる友人も見つけて楽しみがまた増えました。



突然出会うとビックリ



内藤さんありがとう!! 柵は「北の国から」を模倣



仮の羊小屋。これで何とかこの冬の雪をしのいで…



今年刈ったハナ(雌羊)の毛です



## 2013年11月23日 ハジマリノハジマリ KURIライブと森のマルシェ（市）

大好評KURIのコンサートは今度で3回目。それに合わせて会員交流の餅つきと市そして久万山こども五神太鼓が行われました。まずは恒例の会員餅つきからスタート。おいしい搗き立ておもちと沖縄ぜんざい（雑穀いり）とお雑煮は恒例のお楽しみです。



みんなで楽しくお餅つき！！

森のマルシェには町内外から沢山の会員さんたちがお店を。高知県の無農薬ゆず！小松商店のしぶきちゃんとタケちゃん夫婦。内子町から手作りマクロビスイーツをもってきてくれたまゆみちゃん。おいしい自家製パンのサンドイッチとスイーツも！



久万・面河から工房うずのジャムやケーキも・・・



西条で自然農法。まんがら農園 理恵ちゃん、ベジラーメン。



子ども連れて  
ありがとう！！



ふじみね元気村のおでん  
大根が人気でした。



他にもたくさんのお店を出していただきました。  
ありがとうございました。

メインイベント??なみの迫力と存在感で皆を圧倒しました。  
久万山こども五神太鼓の野外ライブ！！

3歳から小学6  
年生の子供たち  
決まった！



久万山に伝わる  
歴史ある太鼓  
久万・三嶋神社

## KURIライブ ハジマリノハジマリ

山梨から日本全国に音を届けにツアーに出たお二人。松山の素敵な（知る人ぞ知る）カフェ、ブルーマーブルでのライブに続く愛媛でのライブは冬の森の中。山梨の森にセルフビルドの家で暮らし、森の四季を感じながら音楽活動を続けているお二人の奏でる音は、なぜか森の木々を震わせ、風を運び心を解き放つ気がしました。

ライブの後は特別にKURIさんたちの旅のスライドとお話会もあって、たくさんの方が参加されました。夜までいろんなこと語り合った、大人も子どもたちも。冷たい空気にたき火の煙。満天の星空がきれいでした。

